

## 目次（追録分）

事例NO.23	「手をひっぱって、とめる」・・・・・・・・・・	2
事例NO.24	「最初にへらしとき」・・・・・・・・・・	4
事例NO.25	「バスからおりて」・・・・・・・・・・	6
事例NO.26	「離れなくなるから ほっておいて」・・・・・・・・・・	8
事例NO.27	「お外で寝て」・・・・・・・・・・	10
事例NO.28	「寝ている子どもの上をまたぐ」・・・・・・・・・・	12
事例NO.29	「後ろから急に抱き上げる」・・・・・・・・・・	14

### 事例23 「手をひっぱって、とめる」

お迎えの時間、保育室の中を2歳児が数名走り回っていた。

お迎えの子どもを送り出すのに、保育者も忙しい時間だったので、けがをする前にとめようと思い、とっさに手を掴んでしまった。

先輩の保育者から

「他者から見ると、手をひっぱってとめたように見えてしまう」と注意された。



保育事例に対する感想	
演習のポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>① とっさに手を掴むことで起きる危険性にはどんなものがあるでしょうか。</li><li>② ほかに、手を掴んだり、足を掴んだりする可能性があるのはどんなときでしょうか。</li><li>③ けがを予防する別の方法にはどんなものがあるでしょうか。</li></ul>
演習後の感想	

## 事例24 「最初にへらしとき」

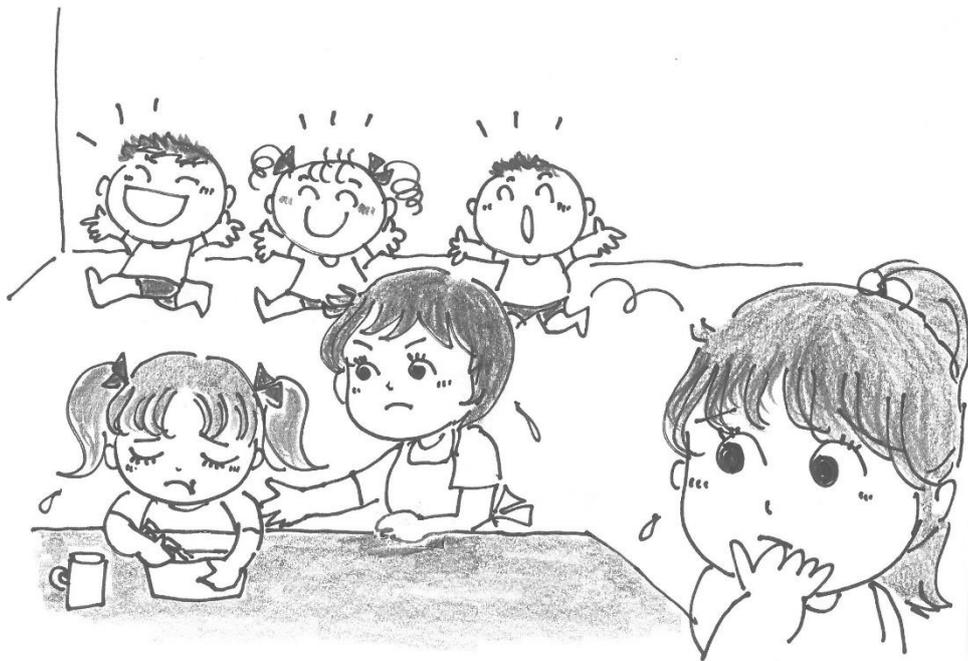
給食で苦手なメニューの場合は、最初に減らすように指導している。

Aちゃんは、はじめに減らさず、食べてみると苦手なものであったので、なかなか食べられなかった。すると、B保育士が

「食べられないんやったら、最初にへらしとき」

と言い、1時間以上かけて食べさせた。

A保育士は主担任であるので、フォローの先生は何も言えなかった。



<p>保育事例に対する感想</p>	
<p>演習のポイント</p>	<p>① 子どもが食べる量や好みをつかむために必要な保育士の援助とはどんなものでしょうか。</p> <p>② 長時間かけて食事をするAちゃんの気持ちはどんなものでしょうか。</p> <p>③ フォローの先生を含め、話しやすい環境づくりには何が必要でしょうか。</p>
<p>演習後の感想</p>	

## 事例25 「バスからおりて」

子どもたちが楽しみな、バスに乗ってのおでかけ。

3歳児のA君は、嬉しくて興奮し、立ち上がったたり、大きな声でさげんだりしていた。担任がきちんと座って静かにするように注意したが、我慢できない。

担任であるB保育士は、

「ルールが守れないなら、バスから降りて」

と言った。



<p>保育事例に対する感想</p>	
<p>演習のポイント</p>	<p>① きちんと座ることが大切であると、A君に伝えるためにはどんな声掛けがあるでしょうか。</p> <p>② 「しまった」と思わせる体験には一定の効果があると考えられますが、「バスを降ろす」と脅す以外に、Aくんの効果的な「しまった」体験にはどんなものがあるでしょうか。</p> <p>③ みんなの集団から離す、という関わりをしまいがちな背景には何があるでしょうか。</p>
<p>演習後の感想</p>	

## 事例26 「離れなくなるから ほっておいて」

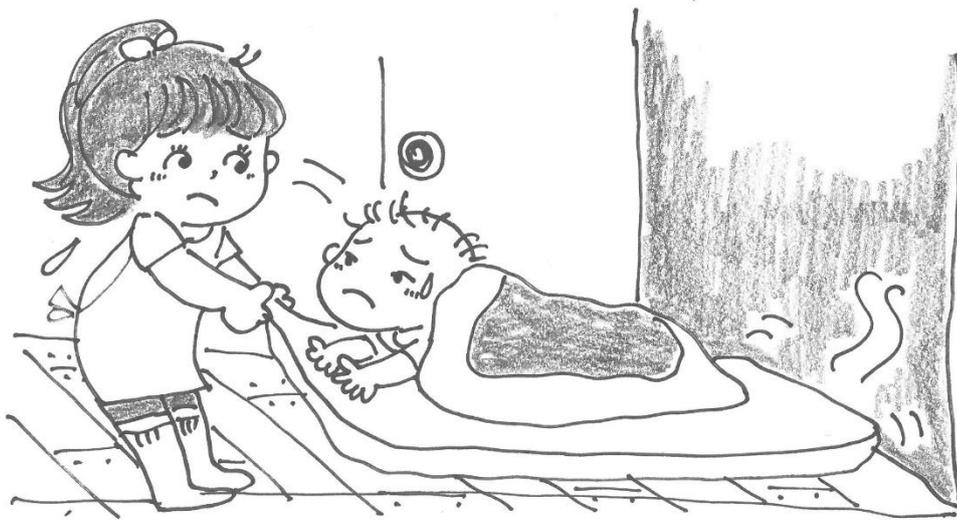
新年度の1歳児クラスで、A君は午睡置きに、一人だけ泣いていた。  
泣き声がおさまらず、抱っこしようとする、担任から  
「A君は一度、抱っこすると、しがみついて離れなくなるからほっておいて」  
と言われた。  
どうしたらよいか、困った。



<p>保育事例に対する感想</p>	
<p>演習のポイント</p>	<p>① 離れなくなるから困る、と考える背景にはどんなものがあるのでしょうか。</p> <p>② 午睡から目覚めたときに泣く、その背景には何があるのでしょうか。</p> <p>③ 子どもの欲求やアタッチメント形成に応えるために、保育士は何をすべきでしょうか。</p>
<p>演習後の感想</p>	

## 事例27 「お外で寝て」

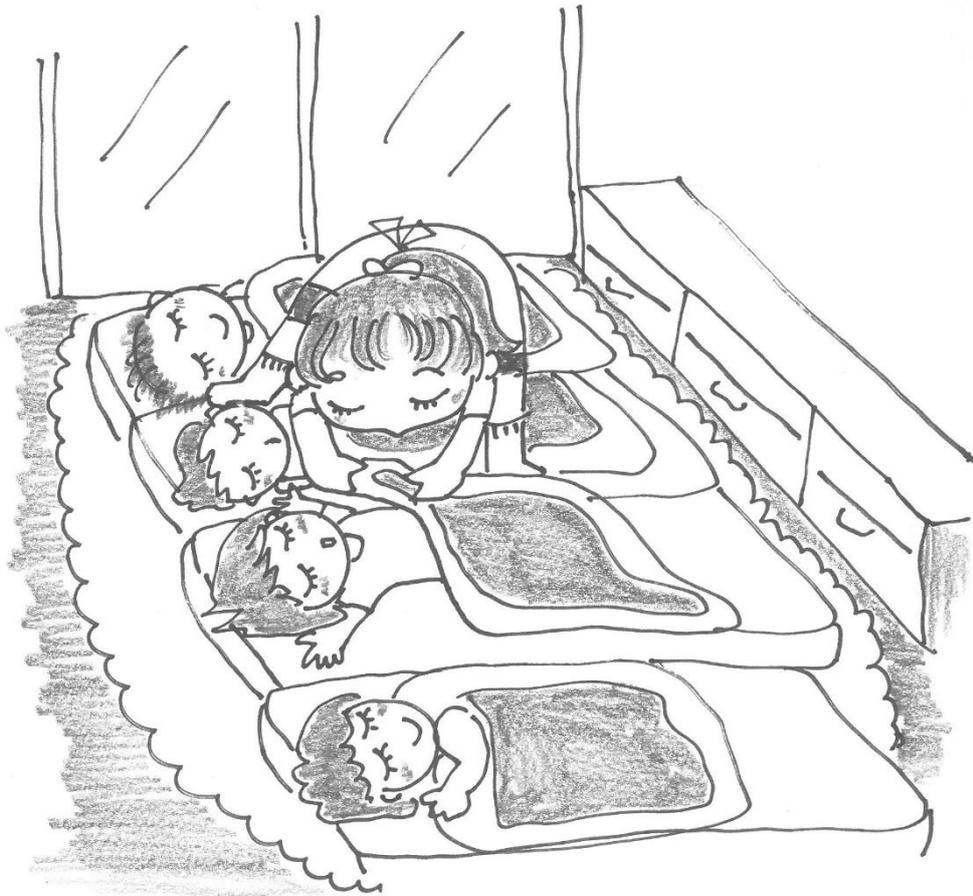
2歳児の保育室で、午睡時、A君は眠くないらしく、ごそごそと動いていた。みんなが寝てしまって、つまらなくなり、立ち上がって歩きまわり、友達の足を踏んだり、大好きなB君を起こそうとしたりし始めました。担任のC先生は、何度か注意をしましたが、聞かないで動きまわるA君を布団ごと部屋から出しました。



<p>保育事例に対する感想</p>	
<p>演習のポイント</p>	<p>① 子どもが眠くないときの対応にはどのようなものがありますか。</p> <p>② 罰を与えない午睡の援助とはどんなものでしょうか。</p> <p>③ 保育所保育指針に定めるような「一律にしない」睡眠にするにはどうしたらいいでしょうか。</p>
<p>演習後の感想</p>	

## 事例28 寝ている子どもの上をまたぐ

A 保育園は、お昼寝スペースが狭く、布団を敷くとほとんど隙間がありません。  
B 先生は、午睡中、子どもたちの上をまたいで、見回りをしています。  
またぐ場所も、頭の上、身体の近く、足元など様々です。



<p>保育事例に対する感想</p>	
<p>演習のポイント</p>	<p>① 子どもの人権を考えた行動にするにはどうしたらいいでしょうか。</p> <p>② B先生は、安全の意識をどのように考えているのでしょうか</p> <p>③ 事故防止に大切な視点は何かでしょうか。</p>
<p>演習後の感想</p>	

## 事例 29 後ろから急に抱き上げる

A先生は、ベランダのガラス扉を開けようとしていました。ちょうど、その扉の前に座って、0歳児のBちゃんが外の葉っぱが揺れている様子を見ていました。A先生は、何も言わずに、Bちゃんを後ろからひょいと抱きあげ、保育室のまんなかに座らせました。



<p>保育事例に対する感想</p>	
<p>演習のポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 保育室の真ん中に座らせた意図はなんでしょうか。</li> <li>② そうすることによって、保育者のかかわりには変化があると思いますか。</li> <li>③ 後ろから声をかけずに抱き上げることにはどんな影響があるでしょうか。</li> </ul>
<p>演習後の感想</p>	